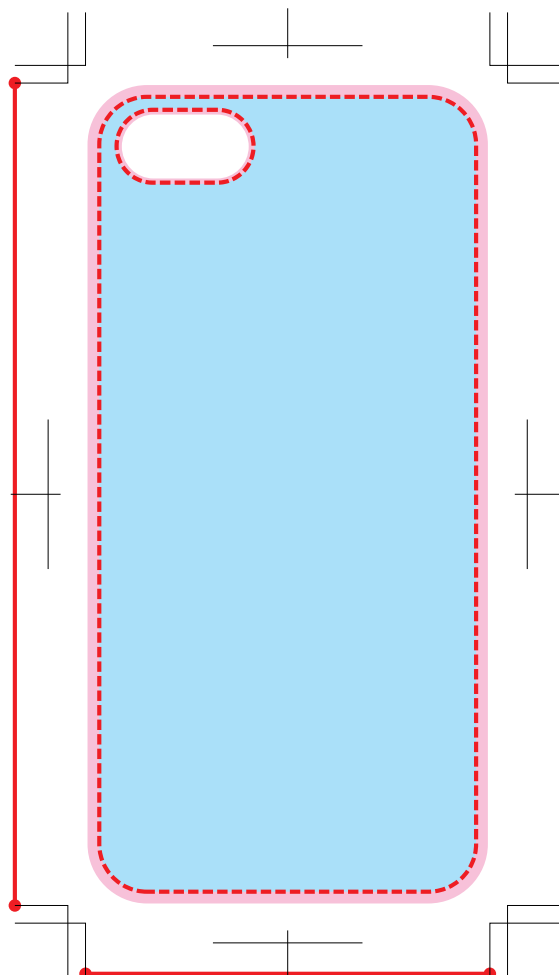


● iPhoneケースについて ●

ケースの形状上、丸みのある部分にムラやカスレが生じる可能性があります。下記をご確認いただき、デザインをご制作くださいませ。

トリムマークは印刷可能範囲②に
合わせております。



弊社オススメ！

★印刷可能範囲①

点線内側の印刷可能範囲①

ムラやカスレ等の問題なく、印刷が可能です。
こちらの範囲内での印刷を
お勧めさせていただいております。


ご注意ください

★印刷可能範囲②

点線外側の印刷可能範囲②につきましては

ケース端部の丸みにより
印刷にムラやカスレが生じる恐れがあります。
デザインによっては、
データ通りの仕上がりにならない場合があります。

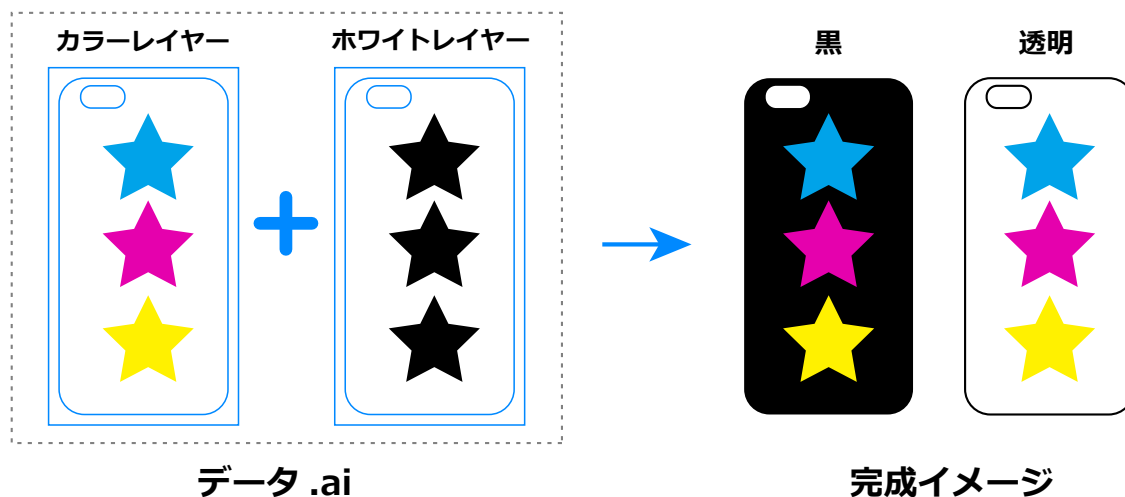
※印刷可能範囲②に配置されたデザインにつきましては
影響の大小にかかわらず、進行させていただきます。

テンプレート上にガイドにて示しております  部分におきましては、印刷されません。
デザインを配置された場合、弊社にてマスク処理をさせていただきます。予めご了承くださいませ。

ブラック・クリアのデータ作成について

ブラックケース・クリアケースに印刷する場合、ホワイトインクを使用しないとカラーデザインが綺麗に表現されません。以下をご覧ください、ケース色と仕上がりのイメージをご考慮いただいた上データ作成をお願いいたします。

⚠ 1つのaiデータにカラーレイヤーとホワイトレイヤーをご作成ください



ホワイトインクを先に印刷することで、鮮やかな色合いが表現できます。
ホワイトインク用のデータは、カラーのレイヤーと別のレイヤーで作成して下さい。
ホワイトインク用レイヤーの中は全て **K(黒)100%** に設定します。
PDF・JPG 入稿の場合は、ホワイトインク印刷用データを別ファイルにて保存し
カラー印刷用データと併せてご入稿くださいませ。

⚠ ホワイトインク用レイヤーの注意



必ず **K(黒)100%** (C,M,Y いずれも 0%) **ベタ塗り**で作成して下さい。
リッチブラックや RGB モードはエラーの原因となりうまく印刷されない可能性があります。
※ホワイトインクはグラデーションのような濃淡差は綺麗に表現できません。
※基本的にはK(黒)の濃度は100%を推奨しています。

⚠ 黒のケース・透明のケースにホワイトインク指定を行わず印刷した場合



ケース色: 黒
ホワイトインクあり



ケース色: 黒
ホワイトインクなし

通常、紙への印刷はCMYKの4色インキで行われます。紙は白地のためインキが綺麗に表現されますが、黒のケース・透明のケースにそのままCMYK印刷を行うと、ケース素材の色の影響を受けた印刷となってしまいます。その結果、ご入稿された元のデザインと大きく異なる見た目に仕上がってしまうため黒・透明にデザインを印刷される場合はホワイトインクレイヤーの作成をお願いしております。